

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	図書館(奉仕担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	ブックスタート事業	事業番号	12168

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-2	幼児教育の充実
	施策目標	子どもたちが心豊かにたくましく生きる力を育むまち	

2 事務事業の目的

目的	地域に生まれた赤ちゃんと保護者に絵本を介し親子のふれあいを深める環境づくりと、小さいうちから本に親しみ読書習慣の形成を図る。
成果	幼少時期から親子で本に親しむ環境をつくることで、生涯にわたる読書習慣の形成と、心豊かな子どもの成長を育む役割を果たすことができる。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	ブックスタートパック(絵本2冊、絵本を入れるバッグ、おすすめ絵本紹介パンフレット等)を、保健課が実施する月々の乳幼児7ヶ月児健康相談において親子に贈る。						
	28	ブックスタートパック(絵本2冊、絵本を入れるバッグ、おすすめ絵本紹介パンフレット等)を、保健課が実施する月々の乳幼児7ヶ月児健康相談において親子に贈る。						
	29	ブックスタートパック(絵本2冊、絵本を入れるバッグ、おすすめ絵本紹介パンフレット等)を、保健課が実施する月々の乳幼児7ヶ月児健康相談において親子に贈る。						
	30	ブックスタートパック(絵本2冊、絵本を入れるバッグ、おすすめ絵本紹介パンフレット等)を、保健課が実施する月々の乳幼児7ヶ月児健康相談において親子に贈る。						
	31	ブックスタートパック(絵本2冊、絵本を入れるバッグ、おすすめ絵本紹介パンフレット等)を、保健課が実施する月々の乳幼児7ヶ月児健康相談において親子に贈る。						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		365	374	374	374	374	1,861
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
		一般財源	365	374	374	374	374	1,861
	人員(人工)		0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
職員費(人員×8,081千円)		2,424	2,424	2,424	2,424	2,424	12,120	
総事業費		2,789	2,798	2,798	2,798	2,798	13,981	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
		合計/年						

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	ブックスタート参加率		100%	100%
	家庭におけるブックスタート贈呈絵本の活用率（アンケート回答）	98%	100%	100%

**事務事業改善策
(継続事業のみ記入)**

平成22年度から「ブックスタート事業」を実施し、7ヶ月健康相談に参加した親子を対象に事業を行っているが、平成26年度までの参加率は97%~100%の間であり、今後は参加親子への理解を深め、保健課との連携を強化しながら、栄養相談の待ち時間が長い場合は、ブックスタート事業を先に実施するなど、親子の待ち時間を短縮する対応をしながら、平成27年度の参加率100%を維持していきたい。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	赤ちゃんと保護者への読み聞かせの体験と絵本の贈りものを受取ることで、赤ちゃんと家族が絵本を通してコミュニケーションを図りながら、愛情や信頼関係を深めることが期待される。
--------------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 赤ちゃんへの読み聞かせをブックスタートを機会に始める親子が多く、アンケートにおいても継続要望が多くある。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 地域の子育て支援の一環として、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 地域で生まれた赤ちゃん全てに読み聞かせを体験してもらう機会として、緊急性が高い。
エ. 手段の適切性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 保健課と連携し、7ヶ月健康相談会場で実施することで、単独実施よりも参加率が高くなり、親子への読み聞かせの普及を図ることができるため適切である。
オ. 事業の公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 7ヶ月健康相談に参加する全ての親子がブックスタート事業の対象者であり、根室市に在住する全ての7ヶ月児が対象となることから公平性が高い。
カ. 事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない ブックスタート事業の参加親子に読み聞かせの体験と絵本を贈ることで、家庭ですぐに読み聞かせを実践できるため有効性が高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	<input checked="" type="checkbox"/> 【速やかに実施】 ブックスタート事業の実施に当たっては、参加率100%の維持を目指して着実に推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 参加率100%の維持を目指して、着実に推進する。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	図書館(奉仕担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input checked="" type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	セカンドブック事業	事業番号	12521

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-2	幼児教育の充実
	施策目標	子どもたちが心豊かにたくましく生きる力を育むまち	

2 事務事業の目的

目的	新1年生を対象に、親子で選んだ本を贈ることで、家庭における本を通じたコミュニケーションを深める「家読(うちどく)」を促進し、子どもの読書活動を支援し、生涯にわたる読書習慣の形成を図ることを目的とする。
成果	市内全ての小学校1年生に、親子で選んだ本を贈呈し、家庭における読書コミュニケーションへのきっかけ作りと読書習慣の形成を図り、親子の絆を深めながら心豊かな子どもの成長を支援する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	セカンドブック選定図書から親子で本を選んでもらい、司書が学校を訪問し読み聞かせ等による読書の楽しさを伝えながら、1年生に本を1冊贈呈する。						
	28	セカンドブック選定図書から親子で本を選んでもらい、司書が学校を訪問し読み聞かせ等による読書の楽しさを伝えながら、1年生に本を1冊贈呈する。						
	29	セカンドブック選定図書から親子で本を選んでもらい、司書が学校を訪問し読み聞かせ等による読書の楽しさを伝えながら、1年生に本を1冊贈呈する。						
	30	セカンドブック選定図書から親子で本を選んでもらい、司書が学校を訪問し読み聞かせ等による読書の楽しさを伝えながら、1年生に本を1冊贈呈する。						
	31	セカンドブック選定図書から親子で本を選んでもらい、司書が学校を訪問し読み聞かせ等による読書の楽しさを伝えながら、1年生に本を1冊贈呈する。						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		448	433	433	433	433	2,180
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他						
	一般財源		448	433	433	433	433	2,180
	人員(人工)		0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	
職員費(人員×8,081千円)		3,232	3,232	3,232	3,232	3,232	16,160	
総事業費		3,680	3,665	3,665	3,665	3,665	18,340	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	セカンドブック実施率	100%	100%	100%
	小学校における読み聞かせ（8校）	100%	100%	100%
事務事業改善策 (継続事業のみ記入)				
		平成27年度から「セカンドブック事業」を新規に実施し、セカンドブック選定図書12冊の中から好きな本を親子に選んでもらい贈呈しているが、親子の選ぶ本の幅を広げるため選定図書の更新をしていく。		

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	セカンドブック選定図書から親子で本を選ぶことにより、親子間で読書についての対話が生まれ、本を実際に手にすることにより読書への新たな意欲喚起や読書習慣の形成につながることを期待され、家庭の読書環境の向上と心豊かな子どもの成長を支援する。
--------------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	■かなりのニーズがある <input type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 実際に本を受取った1年生親子からも喜びの声が届き、市民ニーズが多くある。
イ. 市が実施する必要性	■市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 地域の子育て支援の一環として、市が実施すべきである。
ウ. 事業の緊急性	■緊急性が高い <input type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 小学生の読書習慣の形成を目的とすることから、緊急性が高い。
エ. 手段の適切性	■適切である <input type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 小学校と連携し、司書が学校を訪問しセカンドブック事業を実施することで、読み聞かせ等による読書の楽しさを伝えながら、小学1年生全員へ本を贈呈することができるため適切である。
オ. 事業の公平性	■公平性は高い <input type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 市内全ての小学校1年生に本を贈呈することから、公平性が高い。
カ. 事業の有効性	■本事業の有効性が高い <input type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 親子による本の選定により家庭における読書コミュニケーションを推進し、読書の楽しさを伝えながら本を贈呈することで読書活動の高まりが期待できるため、有効性が高い。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【速やかに実施】 セカンドブック事業の実施に当たっては、実施率100%の維持を目指して着実に推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	■計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 実施率100%の維持を目指して、着実に推進する。

作成年度 平成27年度